



下古井の道しるべ  
(古井町)

古井町下古井辺り、飛騨街道と中山道が分岐する所に、「右東京善光寺／左飛騨高山 八百津 麻生 道」と刻まれた道しるべがあります。これは、明治26年に名古屋市塩町の伊藤萬蔵によって建てられた石碑です。

ここを起点とする飛騨街道は、古井神社の前を通り、青柳大橋の手前で北に曲がって、川辺方面へ続きます。沿って流れる飛騨川とともに、古くから多くの物資や人々がこの道を通って行き交っており、現在に至っても重要な街道の一つとなっています。